

漁獲情報収集管理事業

鹿熊信一郎、金城すが子*¹、泉あゆみ*²

1. 目的および内容

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、基礎となる漁獲統計データの収集・管理を行う。また、効率的な情報収集及び利用システムの開発を行う。

本事業を実施するにあたり、毎月の漁獲記録が保存されたフロッピーディスクや、セリ帳を提供していただいた関係漁協には厚くお礼申し上げる。

2. 材料及び方法

販売業務（セリ帳集計）にコンピューターを導入している漁業協同組合を対象に、毎日の販売データをフロッピーディスクに保存してもらい、それを漁獲統計の資料とした。この作業は1989年1月以降継続して実施している。コンピューターを導入していない漁協については、水産試験場においてパソコンによ

り集計した。この作業のおよその流れを図1に示した。

3. 結果及び考察

22の漁協・漁連市場の情報を収集・保管した。データはマイクロソフト社のアクセスでデータベース化した。市場別、日別、魚種（約300項目）別、漁獲量、漁獲金額などを入力した。

今年度は、いくつかの漁協がオフィスコンピューター（オフコン）からパソコンに切り替えたため、これに対処した。1998年11月現在、オフコンとパソコンを使用する漁協は次のとおりである。

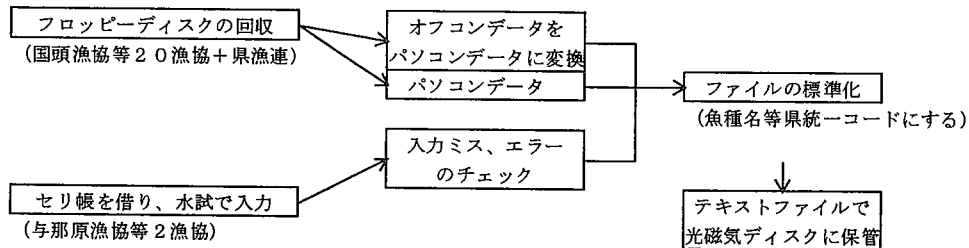
オフコン：県漁連、国頭、恩納、読谷、知念、金武、平良、与那国

パソコン：名護、浦添宜野湾、那覇沿岸、那覇地区、糸満、港川、沖縄市、勝連、与那城、石川、久米島、伊良部

セリ帳：与那原、佐敷中城

1. 漁獲情報の収集整理

漁協市場データ収集



データの収集、入力はオンライン化等により効率化が可能

2. 漁獲情報の利用

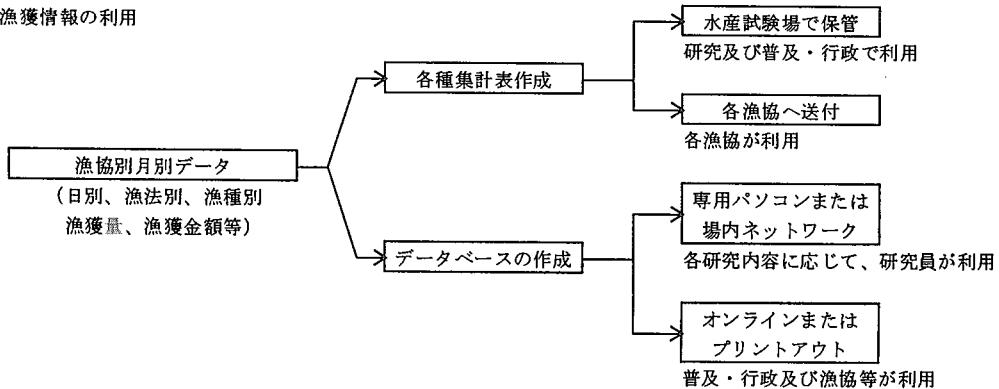


図1 市場情報収集・整理・利用フロー図

*¹非常勤職員 *²非常勤職員